

シリーズ 市民美術展入賞作品紹介

わたしの作品

【写真】市展賞
軌跡



岡垣慶子さん

夫も写真が趣味で一緒にあちこち出歩き、楽しみながら撮っています。この作品は、二千年末に撮ったもので、世紀末にあたり混沌とした世の中の迷い、なんとなく不安な感じ、すなわち「人生」を表現しようと思いましたが、来年も、市展賞をもらうことが目標で、夫のアドバイスを受けながら頑張っています。



奥田 優さん



【工芸】鳥取民藝美術館長賞
ひねり鑄瓶

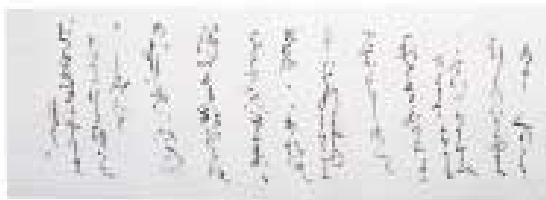
五年位前に知人に誘われて、週一回の陶芸教室に通い始めました。今では、花瓶や茶碗、湯呑など、身近に使えるものを作って楽しんでいきます。今後は、溝を彫って模様をつける鑄(しのぎ)とか、へらで粘土を削り取って変化をつける面取りをもう少し工夫してみたいと考えています。こんなに早く賞がもらえて、喜んでいきます。

【日本画】市展賞
帰ろかな



内田かおりさん

十二月まで岩美高校で美術を教えていました。「帰ろかな」は、都会で就職しようと思っていた私が、描いているうちに、地元に戻ってもいいかなと思うキッカケになった作品です。遠近感と色の統一感を出すのに苦労しました。日本画家の秋野不矩さんのように一生絵を描き続けたいと思っています。



【書道】市展賞 つきよ夜



石破美幸さん

これは、太田水穂の短歌四首を書いた「かな中字作品」です。作品の展開部分では、大きく白を動かそうと、筆遣いと墨の濃淡に気を使いました。これからも、かなの持っている情趣を大事にしながら、白の美しい、景色のある作品を書いていきたいと思っています。